



平成29年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	平成29年 9月28日(木)～29日(金)	
2	研 修 地	山形県川西町 川西町役場 東京都千代田区平河町 シェーンバツハ・サボー	
3	研 修 内 容	(内 容)	(場 所)
		(1) 川西町議会の議会だよりづくりの留意点について	川西町役場
		(2) 「伝える広報」から「伝わる広報」へ	シェーンバツハ・サ
		(3) 「議会広報 広報誌×電子広報 何がどう変わってきたか」	ボー
		(4) 「第31回議会広報コンクール トップ2 クリニック最優秀賞受賞誌から学ぶ」	
4	研修結果 又は概要 (意見・ 感想)	<p>(1) 川西町議会の議会広報誌には、至るところに住民参加の意見がちりばめられており、住民とともに歩む町議会という姿勢が表れていた。 また、担当されている議員が熱意を持って、分かりやすい紙面を作り、少しでも早く町民の一人ひとりにお知らせしたいとの気持ちで取り組まれていることが感じられた。</p> <p>(2) 豊富な資料に基づく、分かりやすい講習であった。今後の議会だよりの作成に生かしていきたい。</p> <p>(3) 議会広報の発信において、時代に合わせた柔軟性が求められる。インターネットを活用した広報活動も取り入れたい。</p> <p>(4) 読者に身近に感じてもらえる工夫が随所に盛り込まれている。読み手の目線になり、読みたくなる議会だよりの作成に生かしていきたい。</p> <p><b>まとめ</b></p> <p>川西町議会との議会だよりづくりの意見交換で、広報委員さんたちの日頃の努力と熱意を感じた。編集の実力があがりながら、町民モニター制度を設け、その意見を真摯に受け止め、町民さんとともにつくる姿勢が大いに勉強になった。</p> <p>いずれの研修においても、担当者の熱意が、広報誌のつくり方に直結していると感じた。新たなアイデアを取り入れながら読みたくなる紙面、伝わる広報誌の作成に尽力したい。</p>	